



平成24年 神奈川ICA第11回定期総会・基調講演 レポート

日時： 2012年4月25日(水)

会場： ハウスクエア横浜セミナールームA(4F)

【第11回定期総会】14:00～14:30

平成24年4月25日、ハウスクエア横浜セミナールームAにおいて、神奈川インテリアコーディネーター協会「第11回定期総会」が行われました。

会長及び理事より、下記議事について審議し、すべて出席者の拍手によって承認されました。

〈議事〉

- 第1号議案 平成23年度活動報告及び決算報告について
- 第2号議案 平成24年度活動計画(案)について
- 第3号議案 平成24年度収支予算(案)について
- 第4号議案 理事の選任について
- 第5号議案 相談役の選任及びそれに伴う会則の改訂について
- 第6号議案 会計監査役の選任について

続いて総会にて選任された新理事の紹介がありました。

尚、今回選任された理事は以下の通りです。

会 長	林 美和子	
副会長	鈴木 久美子	(財務担当)
副会長	高橋 奈津子	(広報担当)
副会長	金澤 香	(賛助会員企業担当)
理 事	野中 欽一	(賛助会員企業担当)
同	光野 真理子	(総務担当)
同	露木 絵里	(総務担当)
同	下田 真理	(財務担当)
同	藤森 美和子	(広報担当)

【基調講演】「インテリアカラーコーディネート の隠れ技」

～ヨーロッパホテルデザインからトレンドを～

講師：根元 美奈先生 (Yris Design 代表)

時間：14:50～16:05



講師の根元先生

KICA 第 11 回定期総会後にインテリアデザイナー・トータルカラーリストとして活躍されている根元美奈先生をお迎えし、インテリアにおけるカラーコーディネートの基本と技を教えていただく事ができました。

■ 色の影響・効果

テーブルの色によって食事時間に違いが出る。

赤・黄・青を例に色の効果を説明。

赤…食欲中枢を刺激。

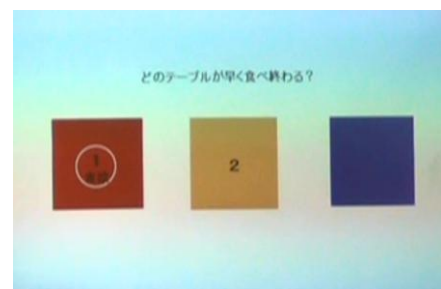
活動的・エネルギッシュになる色。

⇒食事時間が一番短い

黄…コンビネーションを司る。

心を明るくする・会話が弾む色。

青…気持ちをすずめてくれる色。



テーブルの色で食べ終わる時間が違う?!

■ 五感覚（視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚）における視覚の割合

- ・ 五感覚において視覚が占める割合は 87% と他の感覚と比べ圧倒的に大きい。
- ・ 色は人心理面・肉体面にさまざまな影響を与えている。

■ インテリア空間における色の使い方

- ・ 色・柄を繰り返す。
- ・ キーカラーを徹底的に追求する。
- ・ 配色の黄金率 (7 : 2 : 1) を守る

■ 暖色と寒色

- ・ 暖色…脳の β 派 (はっきり覚醒している状態) を導く → 活性化
- ・ 寒色…脳の α 派 (眠くなる・うっとりしている感じ) を導く → 沈静化

空間機能によって使い分けると良い。

また、「暖寒コントラスト」をうまく利用する。

(暖色と寒色を配色する事により、暖色と寒色が互いに強調し合う。)

■ 補色の効果

- ・ 補色 (反対色) はお互いの彩度を高めてくれる。

■ インテリアシーンに合わせて色彩心理を使う。

- ・ 赤…エネルギー
- ・ ピンク…幸せ
- ・ オレンジ…陽気
- ・ 黄…楽しさ
- ・ 緑…爽やかさ
- ・ ブルー…落ち着き
- ・ パープル…癒し



色彩心理の説明

■ 暖色・寒色のまとめ

- ・ 暖色（ビビットカラー）＝ ストレス・エネルギーカラー
小面積でアクセントカラーとして使用する。
- ・ 寒色・パステル・ベージュ ＝ リラックス・ヒーリングカラー
異素材を組み合わせる。
暖色をアクセントカラーとして取り入れる。

◆◆◆ 各色と組み合わせについてのまとめ ◆◆◆

白	<ul style="list-style-type: none"> ・ 白は反射率 88%と色の中でも反射率が一番高い。 (インテリアに使用する場合は 70%~75%の目に優しいものを使用した方が良い。) ・ 背景色にすると顔色・姿を美しく見せる。→自己愛の啓発。 ・ 内分泌を活発にし、若返り効果がある。 ・ 活動意欲が生じる。身体的活動を活発にする。 ・ 心の暖かさ、爽やかさを生み、気分を爽快にしてくれる。
木材の色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人の肌の色は反射率が 50%、木材の色も同様の 50%である。 ・ 同じ反射率の色に囲まれると落ち着く。
無彩色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無彩色は他の有彩色の邪魔をしない。 ・ 無彩色を多用する事により見せたい色をフォーカスして見せる事が出来る。
赤	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暖色の極みの色。物理的暖かさを持つ。 ・ 食欲中枢を刺激し、アドレナリンを出す。→食事空間に適している。 ・ 心理的高揚感を生み積極的に。使いすぎると怒りっぽくなるなど高興奮化作用を起こすので注意。 ・ 筋肉の収縮率が大きい。→発汗作用、心拍数、瞬き率の増加。 ・ 面積配分に注意！ (壁面ではなく床面に赤を使用する等視界から外す。小面積・リピートして使用する。)

<p>パステルカラー ベージュ ライトグレイッシュトーン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安らぎ空間には穏やかな配色を → 筋肉を緩めてくれる、α派が生まれる ・ 緩すぎる場合には柄物で変化をつける。
<p>ホワイト &ブラウン</p>	<p>2色の面積バランスでイメージが変化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホワイト多く… ライトナチュラルなイメージ ・ ブラウンを多く… ハードクラシックなイメージ ・ ホワイト 50%、ブラウン 50% … 安定感が生まれる。 <p>素材感を意識して取り入れると良い。</p>
<p>グリーン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康・希望色 ・ 癒し・回復色 ・ 喪失感克服 ・ 欲望充足感 ・ 眼性疲労軽減 <p>なるべく自然なグリーンを使用。 使いすぎると冷たさ・孤独感を与えてしまうので注意！</p>
<p>ブラック &ホワイト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明快コントラスト ・ 派手さと落ち着きを同時に併せ持つ。 ・ 集中力を増す効果がある。
<p>ピンク</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若返りに効果 ・ 女性ホルモンを活性化 ・ 優しさ感を生む ・ 幸せ感を生む <p>更年期障害の緩和・高齢化社会にぴったりな色。 使用する場合は素材に注意！ 上質なものを使用しないとチープな空間になってしまう。</p>



とっても素敵なヨーロッパホテルのインテリア写真を沢山見せていただきました！

インテリア空間に使われる色の特徴・色彩心理、そしてインテリア空間にどのように使用すれば良いか等、約1時間の中にインテリアコーディネーターとして使える知識・技がぎっしり詰め込まれた、とても充実した内容のセミナーでした。
また、上質なヨーロッパホテルの素敵なインテリア画像を沢山見せていただき、極上な気分を味わう事が出来ました！

【懇親会】 16:10～17:15

基調講演後、会員・賛助会員の皆様そして基調講演で講師をして下さった根元美奈先生をお招きし、和やかな雰囲気で開催されました。

(レポート作成 M.F.)